

2012.06.16

全日本リアリズム演劇会議東会議主催

## 東日本演劇ゼミナール (概要)

2012年8月25日(土)ー26日(日)

浜名湖弁天島温泉ファミリーホテル「開春楼」

〒431-0214 静岡県浜松市西区舞阪町弁天島2669の1

TEL.053-597-3300

東海道本線弁天島駅より歩いて2分  
(新幹線:浜松から3つ目の駅)

### 舞阪文化センター

〒431-0211 浜松市西区舞阪町舞阪2701-1

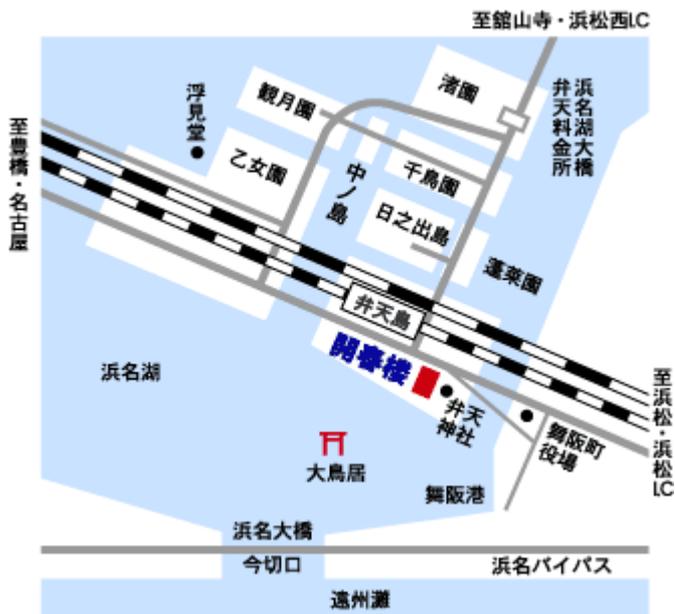
TEL 053-592-0131

「開春楼」から徒歩で6分。

### ゼミナール参加費

一人 9,000円

8月25日(土)



◎開会式	18:00ー18:30	開春楼/平安の間
◎講演	18:30ー20:00	開春楼/平安の間



講師:米屋尚子氏(芸団協)氏

### 「演劇を支える」から「演劇で支える」へ

演劇が地域に入り込んでいくためにはどんなことが必要なのでしょう。もっと実態を把握した調査をもとに考えていく必要があります。

例えば、学校教育でもコミュニケーション、郷土史、作劇など地域の劇団が活躍できるところがたくさんあります。ではどうしたら演劇が、劇団が先生たちから信頼されていくのでしょうか。俳優のみなさんが学校に行ってワークショップを行うとしたら、何が必要なのでしょう。「いい演劇を作る」「演技が上手い」だけでは何か足りないかも知れません。俳優のみなさんにも、とても大切な話です。

「演劇を支える」から「演劇で支える」へ。米屋さんの豊富なデータに裏付けされた鋭い指摘をどうぞお聞き下さい。

## 米屋 尚子(よねや なおこ)さんプロフィール:

富山県生まれ。1984年早稲田大学卒。外資系銀行勤務、演劇専門誌編集、フリーの演劇ジャーナリストなどを経て、91年から93年、英国シティ大学大学院に留学。芸術政策運営学科にて、アーツ・アドミニストレーション・ディプロマと芸術批評修士修了。93年慶應義塾大学アートセンター立ち上げに携わった後、米国コロンビア大学に客員研究員として留学。96年より(社)日本芸能実演家団体協議会(通称:芸団協)に勤務。舞台芸術に関するさまざまな調査研究、政策提言、研修事業の企画・実施など、舞台芸術の基盤整備にかかわる仕事を手がけてきた。4月より芸団協の公益法人移行に伴い組織再編があり、文化芸術政策推進業務部部長。

2003年から2007年まで文化審議会・文化政策部会の委員を7期務めたほか、神奈川県文化芸術振興審議会委員、大和市文化芸術振興条例検討会議委員など。

所属学会等:文化経済学会、日本演劇学会、日本音楽芸術マネジメント学会、国際演劇批評家協会会員。著書に『演劇は仕事になるのか?～演劇の経済的側面とその未来』(彩流社 2011年)など。

◎交流会 20:00-22:00 開春楼・平安の間

8月26日(日)

◎モデル上演 8:30-9:30 舞阪文化センター

劇団からっかぜ「結婚の申込」

◎分科会 9:40-12:30 舞阪文化センター会議室

分科会1 「米屋尚子氏の講演を基調とするアートマネジメント」

講師:米屋尚子氏

チューター:石垣政裕

分科会2 「地域に根ざした演劇の再生を」

講師:小川信夫氏

チューター:城谷 護

京浜協同劇団などが参加した市民劇などを手がけた小川信夫さんを迎え、地域の劇作という立場で地域とどうつながっていくかを考える。

小川 信夫 氏のプロフィール

青少年演劇作家。川崎市教育委員、玉川大学客員教授などを歴任。

日本児童演劇協会理事。児童演劇誌「げき」編集委員。川崎郷土・市民劇で「多摩川に虹をかけた男」、「杵形城・落日の舞い」など4本の台本を書き続け、京浜協同劇団などが上演している。川崎市文化賞受賞。1926年神奈川県生まれ。

### 分科会3 「地域とつながる芝居を支える舞台技術とは」

講師:小松慶子氏

チューター:内田 薫

海外公演から地域のさまざまな団体とのつながりを舞台技術の立場からどう挑戦していくかを考える。

#### 小松慶子氏のプロフィール

36年間劇団仙台小劇場の舞台スタッフとして活躍。地域の題材を舞台にのせた一連の「太白区手作り演劇」を始め、大小の創作芝居作りを支えている。日本照明家協会会員。

海外公演:2006年2008年馬山国際演劇祭、2006年「遠い火」中国公演

自主公演:「柳萌えて」(2010年仙台市楽楽楽ホール)他多数

移動公演:「ようこそクマジロウ」「DANDANおんだんか」他多数

最近の提携公演:仙台市長町地区まちづくり「ながまち わがまち 愛のまち」(仙台市楽楽ホール2013年10月予定)、尚絅学院創立120周年記念「GOODNESS-ブゼル伝」(仙台市国際センター2012年8月公演予定)

### 分科会4 「俳優のための役づくりの基礎」

講師 平井 新

チューター:布施佑一郎

長年の芝居創りの中で培い生み出した、独自のメソッドを使い「役づくり」講座を開催。初心者も経験者も必須の講座。

#### 平井 新氏のプロフィール

県演協認定インストラクター、劇団歴37年 演出・舞台照明、劇団を代表する演出家。役者の持てる力を最大限に引き出し、創りあげる作品には定評がある。

静岡県芸術祭審査委員を2004年から2007年まで勤める主な演出作品、「かげの砦」「旅立ち」「アンネの日記」「父と暮せば」